◆総合計画推進委員会　質問・意見に対する回答

資料1

No.	区分 （調書ページ）	施策	質問・意見等の概要	担当課による回答	担当課
1	基本目標1 （P11～P12）	（2）担い手、労働力の確保	婚活イベントについて、町内に事務局を置く結婚相談所の活用について教えてほしい。	農協と農業委員会で構成する農業後継者推進協議会が、後継者対策として交流会の開催やイベント参加助成を行っておりますが、町内に事務局を置く結婚相談所の活用は現在のところありません。	農業委員会
2	基本目標3 （P72～P73）	（3）移住・定住の促進		移住・定住の促進を目的として、町内に支店があり、町と連携協定を締結している帯広信用金庫が運営する結婚相談所「おびしんキューピット」を活用した取組を行っています。 取組内容は、当相談所への登録によって結婚した町内に住民票がある夫婦に対して、町内の対象店舗で利用できる商品券5万円分を贈呈するもので、平成３１年４月の取組開始以降、４組の実績があります。	まちづくり推進課
3	基本目標2 （P39～P40）	（3）ホームページの充実、インターネットの活用	町政声のポストの年間の投稿数について教えてほしい。	町政声のポストなど、町に寄せられるご意見お問い合わせについては、広報紙に年１回封入しているハガキのほか、役場、木野支所、文化センター及び３カ所のコミセンの公共施設に設置している「声のポスト」、ホームページに設けている、ご意見お問い合わせの「メールフォーム」や「町長への手紙」、「メールボックス」があります。 令和５年度に寄せられたご意見などにつきましては、合計２７８件となっております。内訳といたしましては、「ハガキ」３３件、公共施設の「声のポスト」５０件、ホームページの「町長への手紙」３件、「メールボックス」6件、「メールフォーム」１８６件となっております。	広報広聴課
4	基本目標2 （P39～P40）	（3）ホームページの充実、インターネットの活用	ホームページの多言語対応は、なぜ4言語（英語、簡体字、繁体字、韓国語）なのか。	本町ホームページの多言語対応は、民間の自動翻訳サービスを利用しております。 対応する言語については、居住者、来訪者などの状況や、ホームページへの表示の際の見やすさ、周辺自治体の状況などを考慮して、標記の４言語としております。 なお、自動翻訳については、いずれかの言語に翻訳後、自動翻訳サービスの機能により他の言語への翻訳も可能となっております。 また、今後更なる多言語化への要望があった場合については、対応を検討してまいりたいと思います。	広報広聴課
5	－	－	現在、外国人材の働き方について、繁忙閑散期の働き方は多様化しており、町内にもそのような外国人材を活用している企業がある。 まちが主導して、外国人材を導入支援する考えの有無について教えてほしい。 町が外国人施策を強化する必要があると考える。	人手不足の解消に向け、外国人材のみならず多様な人材が活躍できる環境の整備が必要と考えています。 音更町商工会などの関係機関と連携して実態に即した施策の展開について検討していきます。	商工観光課
6	－	－	直近の町内定住外国人の国籍数、人数を教えてほしい。	11月末日現在における町内在住の外国人数は２２５名、国籍数は20か国です。	町民課
7	－	－	生活保護の受給者数、保護世帯の求職状態について、教えてほしい。	令和５年度末においての被保護人数は581人（431世帯）です。 保護世帯の求職状態について具体的にお示しできるものはありませんが、働くことができる人は稼働能力を活用して働くことで自立を目指せるよう、生活保護の実施機関である北海道が中心となり支援しています。 ※参考 R2末 608人（442世帯）、R3末 595人（438世帯）、R4末 541人（412世帯）	福祉課